

# A 家庭科、技術・家庭科（家庭分野）における育成をめざす「資質・能力」

## 育成をめざす「資質・能力」

◎ **生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようと工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。**

- (1) 家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける
- (2) 生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど課題を解決する力を養う
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、主体的に生活を工夫し創造する実践的な態度を養う

※ 別添11-1「家庭科、技術・家庭科(家庭分野)において育成を目指す資質・能力の整理」(別添資料P.60) 及び別添11-3「家庭科、技術・家庭科(家庭分野)における教育のイメージ」(別添資料P.62)より作成

(1) 知識・技能 (2) 思考力・判断力・表現力 (3) 学びに向かう力・人間性等

### 資質・能力を育成する学びの過程

家庭科における学習活動は、①生活の課題発見、②解決方法の検討と計画、③課題解決に向けた実践活動、④実践活動の評価・改善と整理することができます。家庭や地域での実践についても、一連の学習過程として位置付けられます。

資質・能力を育成する学びの過程は、児童生徒の状況や題材構成等に応じて異なります。児童生徒が課題を解決した達成感や、実践する喜びを味わい、次の学びに主体的に取り組めるよう、家庭科を学習する期間全体を見通して、資質・能力を育成する学びの過程を計画的に位置付ける必要があります。



### 各学校で考えてみましょう

- ▶ 別添11-1「家庭科、技術・家庭科(家庭分野)において育成をめざす資質・能力の整理」を読んで、具体的な題材又は単元の目標を設定してみましょう。

### 見方・考え方

家庭科においては、家族や家庭、衣食住、消費や環境など、多様な生活事象を学習対象としています。これらの生活課題に係る問題を解決するために、知識・技能を身に付け、課題の解決に向けて自分の考えを構想したり、表現したりするなど思考・判断・表現して、学習内容の深い理解や生活を工夫し創造する資質・能力の育成につなげます。このときに働かせるのが「生活の営みに係る見方・考え方」です。

#### 【生活の営みに係る見方・考え方】

家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、  
協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の  
視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること

「見方・考え方」に示されている視点は、相互に関わり合うものであり、児童生徒の発達の段階を踏まえるとともに、例えば、衣食住の生活に関する内容においては、「健康・快適・安全」や「生活文化の継承・創造」を主として考察する視点とするなど、取りあげる内容や題材構成等によって、どの視点を重視するのかを適切に定める必要があります。



なお、学びの過程において困難さを感じる児童・生徒への対応も必要です。

◇ 指導の工夫、手立ての例については、こちらまで 

[クリック](#)

#### 各学校で考えてみましょう

- ▶ 生活の営みに係る見方・考え方を生かした、児童生徒が「生活の科学的な理解を深める実践的・体験的な学習活動」や児童生徒の「実生活での実践につながる問題解決的な学習」を取り入れた授業を、具体的に構想してみましょう。

# C 家庭科、技術・家庭科（家庭分野）における教育内容の改善・充実～科目構成の見直し～

小・中・高の系統性、既存の内容の関連性、「見方・考え方」を踏まえた内容の改善

- ①空間軸と時間軸の二つの視点から各学校段階の学習対象を明確化
- ②家庭や地域社会との連携を図り、学校での学習を家庭・地域における実践として生かす

- 「空間軸」の視点…(小)自己と家庭→(中)家庭と地域→(高)家庭と地域、社会とのつながり
- 「時間軸」の視点…(小)自分自身の現在・これまでの生活→(中)これからの生活→(高)生涯を見通した生活

## 小・中学校 内容の配列



現 行

- A 家族・家庭生活に関する内容
- B 食生活に関する内容
- C 衣生活・住生活に関する内容
- D 消費生活・環境に関する内容



改訂後

- A 家族・家庭生活に関する内容
- B 衣食住の生活に関する内容
- C 消費生活・環境に関する内容

## 高等学校 【共通必修履修科目】 科目構成の見直し



現 行

家庭基礎、家庭総合、生活デザイン



改訂後

家庭基礎、家庭総合

## 小・中・高を通して 主体的に取り組む問題解決的な学習を一層充実

現 行

- (中)生活の課題と実践
- (高)ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動



改訂後

- (小)生活の課題と実践
- (中)生活の課題と実践
- (高)ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動